

南砂小くるプレ【立川市】

活動場所	学校内	学校外	■主な活動場所 専用教室・校庭・体育館
	○		
開催日数	243日/年間		■開催日 平日(月～金曜) ※土日祝日、年末年始は休み
参加人数	34人/1日平均		
活動の特徴	自由活動型	プログラム活動型	■参加対象 立川市立南砂小学校区域に居住する小学生
	○		
学習活動の特徴	自主学習	学習プログラム	■申込み手続き 保護者が実施教室に来訪し登録票により申込み
	○		
学童クラブとの連携	一体型	連携型	
		○	

活動紹介

南砂小くるプレは、令和5年4月より民間事業者委託によりスタートした。

平日は下校時より午後5時15分まで（10月～2月は午後4時30分まで）、3季休業中の平日は、午前9時から開催。子どもたちが自主的に安全に遊べる居場所を提供し、見守りをを行っている。また、これまで地域主体で実施してきた放課後子ども教室「遊～YOU～」の流れを汲み、定期的に「遊～YOU～の日」を実施。

学校裏の農家の畑へお邪魔してじゃがいも堀り体験をしたり、七夕イベントで工作やお琴体験をしたりと、地域との交流を深めている。また、隣接する学童保育所の児童を招いて、体育館にて「くるプレ・学童対抗ドッチビー大会」を開催する等、学童保育所との連携にも力を入れている。

さらに、地元のプロバスケットボールチーム立川ダイスの選手を招いてのバスケットボール教室を実施するなど、地域資源を活かした活動を行っている。

じゃがいも堀り体験



お琴教室



コーディネーターや地域の方々などの参加について

- 採用・募集 競争入札により委託事業者を決定。地域の自治会や民生委員にも協力を依頼する。
- 配置人数 [見守り]6名/委託事業者 [コーディネーター]3名/委託事業者1名、地域2名
- 運営体制 委託事業者の責任者が中心となり、イベント企画や学校・地域との調整を行っている。責任者会議(月1回/市・事業者)やスタッフ連絡会(年2回/市・学校・地域・事業者)も実施。

立川市の取組

- 全教室数 18教室
- 事業目的 子どもたちを心豊かで健やかに育むため、放課後、週末等に小学校の教室などを活用して、安全・安心な環境づくりを行う。
- 事業の成果等 令和4年度より民間事業者委託による放課後子ども教室を順次展開。事業委託により地域の負担を少なくしつつ、安定した放課後子ども教室の実施を図る。定期的に「地域交流デー」を実施することにより、これまでの地域とのつながりやふれあいを継続して行っていく。